

令和4年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	大砂土デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区今羽町637番地1</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法に規定する基本理念に基づき、老人デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③事業内容 老人デイサービス事業(定員15人) 生きがい活動支援通所事業</p> <p>④施設の概要 開設年月 平成10年1月 延床面積 228.64㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上4階建(センターは1階部分)</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 欣彰会
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和2年度 5,695千円 令和3年度 5,695千円 令和4年度 5,867千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 3,462人(前年度3,502人) ・稼働率95.0%(前年度96.1%)</p> <p>◇業務実施状況 利用者の健康増進や生きがい活動の充実が図れる環境を整え、利用者一人ひとりの『心の原動力』を呼び覚ます明確な活動定着を目標に事業を展開したことで、利用者の新たな活動・活躍の場が増えました。また、認知症高齢者やハンデのある方にも様々な活動を通じて喜びや、楽しむという感情を最大限に捉えたサービス提供を心がけ、実施しました。</p> <p>②維持管理業務の状況 昨年と同様に新型コロナウイルス感染対策を徹底し、事業所全体の消毒・清掃、送迎車両の換気能力の向上及び消毒の徹底を行ったことで、直接的な感染者は出ませんでした。修繕としては、全フロアの非常誘導灯の交換を行いました。</p> <p>③その他の業務 ・併設している泰平小学校との交流を少しずつ再開しました。各学年による福祉教育の推進を図る目的で福祉的な授業や子供たちが企画した『感謝を伝える会』などへ参加し、利用者との交流も図ることができました。 ・評議委員として学校運営に対する課題解決に向けての取り組みやデイサービスの運営状況などを報告し、助言やアドバイスなどをいただきながら、地域との積極的な交流を図りました。</p>

<p>(6)収支状況</p>	<p>①収入 ・利用料金収入33,147千円（前年度32,302千円） ・指定管理料5,867千円（前年度5,695千円）</p> <p>②支出 ・人件費27,104千円（前年度25,065千円） ・事務費7,527千円（前年度8,354千円） ・施設管理費0円（前年度0円） ・事業費4,474千円（前年度3,968千円）</p> <p>【自主事業】 ①収入0円（前年度0円） ②支出1,196千円（前年度1,196千円）</p>
<p>(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応</p>	<p>令和4年7月に食事サービス満足度調査を実施しました。その後、令和5年2月に利用者満足度調査を実施し、利用者からは高い評価を受けております。その他、意見箱も設置していますが、利用者からは直接職員へ申し出があることが多いため、その都度対応しています。地域からのご意見等は運営推進会議等を活用していますが、特に要望や意見等はありませんでした。</p>
<p>(8)その他</p>	<p>食事サービスにおいて、昨年より利用者から麺の提供要望が出たため、今年度に入り提供を開始した際、利用者からの評判も良く、今後も継続して対応し、利用者満足度のさらなる向上に努めていきます。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
安定した稼働率の維持	新型コロナウイルスの影響が続いている中、当事業所においては、感染対策の徹底及び、未然防止措置の対応により大きな影響もなく、安定した運営が行えました。特に上半期につきましては、新型コロナウイルスの影響や体調不良での休みが例年以上に少なく、目標以上の安定した運営を実施。下半期について、年末から利用者の入院や体調不良が相次ぎ、稼働率が低下傾向となりましたが、全体を通して、目標数値である94%は越えて終えることができました。
利用者の自立支援に繋がるサービスを強化	一人ひとりの嗜好に合わせた活動を積極的に進め、その活動からさらに利用者同士の輪を拡大したことで、熱心に活動に取り組み、自宅に帰ってから活動を続けるなど、きっかけを作ったことで在宅生活での張り合いが見つかったと利用者から高い評価をいただきました。さらに良い物を作ろうと利用者同士で磨き合う光景も多く見られるようになりました。その他、事業所で提供している食事のレシピを聞いて、自宅で料理するなど在宅生活での楽しみ方にも良い刺激となっており、今後も利用者の自発性が高められるサービスを追求していきます。
地域に根差した事業所を目指し、社会貢献活動の普及に努めていきます。	併設する泰平小学校と協働し、学校運営協議会に委員として参画。学校課題をともに解決していこうという取り組みや、当事業所の取り組み内容へのアドバイスを受けながら、お互いがより良い環境下で運営できるよう、地域住民や公共機関関係者など、幅広い層の方々との密接な交流が図れています。特に居住区における高齢者割合の増加や認知症の方々への適切な理解や共感を得る場ともなり、地域で支え合おうとする姿勢が高くなってきております。
総合事業の新規受け入れを積極的にいきます。	昨年度、フロア改修したことで利用者の活動空間をしっかりと確保することができ、総合事業利用者の個別性を整えることができました。新規受け入れについて、見学等に来られた方の中で、送迎時間や距離の問題などの折り合いがつかず、利用に繋げることができなかった件や、地域密着型事業との提供時間の差異による総合事業としての確立した事業展開が充分に実施できていないことなど、課題がいくつか見え、令和5年度には今件の課題をしっかりと改善できるよう精査し、総合事業としての運営体制及びサービス提供の質を高めていきます。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

新型コロナウイルスの猛威により、事業所として満足のいくサービスを提供できているのかをしっかりと見定め、感染症と共存しながら、1年間運営をして参りました。

①事業の安定という点では、年間を通して95%の稼働実績及び収入増に繋がり、目標の94%を超える実績を出すことができました。傾向としては、12月頃から利用者の体調不良等による欠席が増加し、不安定な状況が一時ありましたが、通いたくなるデイサービスとして利用者ニーズに柔軟な対応を図り、その効果が結果に繋がったと考えております。

②利用者一人ひとりの健康増進や自立支援をしていくために、レクリエーションや日々の活動、利用者との関わりの中で見つけ出していくことに重点を置き、様々な視点から利用者がデイサービスに求める本来のニーズを捉えることができました。試行錯誤しながらも利用者の活動に対する自発的な取り組みに対して、支援を行うことで、それまで眠っていた『やりたい気持ち』『チャレンジしたい気持ち』『誰かの役に立ちたい』という心の奥底にある本当の思いに寄り添える形ができ始めています。利用者がデイサービスに通うことの意義や目的、目標達成に繋がられるよう、幅の広いサービス内容を構築し、取り組んでおります。

③地域との関わりについても、積極的な交流や情報発信ができ、地域包括や居宅介護支援事業所との密接な連携を図り、地域の課題解決に努める事ができました。

④総合事業に関しては、年度はじめに課題として抽出した内容をしっかりと精査し、総合事業だからできる新たな取り組みや利用者ニーズに対して、柔軟な対応ができる運営体制を整備しました。今後さらに、地域から選ばれるデイサービスセンターとしての役割をもって、事業の活性化を図ります。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・新型コロナウイルス感染症が流行し高齢者が外出を控える中、年間を通して95%の稼働実績を上げることができた点を評価した。引き続き、利用者のニーズに柔軟な対応を図り、効果を繋げていただきたい。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。(水道光熱費の高騰による影響は除く。)

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・新型コロナウイルスの影響が続いている中、当事業所においては、感染対策の徹底及び、未然防止措置の対応により大きな影響もなく、安定した運営が行えた点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。